

## SHEIN に行ってみた

## 東京ディズニーランド

東京ディズニーランドに初めて行ったのは、高校2年生の7月だった。ディズニーランドはこの年の4月に開園したばかりだったので、行った人は周りにまだいなかった。

ひとりで行った。これを話すと、「ディズニーランドにひとりでですか?」とたいていいわれるが、一緒にいく相手もなかったし、そもそもひとりの方が気楽なので、ディズニーランドに限らずひとりが多い。

どこかへ行くとか、旅行をするとかには、そこに至る手段や行程も楽しみたい。

今でも東京へ行くのに、新幹線を使わず東北本線の普通列車を乗り継いで行ったり、仙台から常磐線の特急「ひたち」に乗ったりすることがある。

この時は飛行機に乗りたかった。B727.3発リア・エンジンとT字型尾翼、スリムでスマートなボディーの飛行機である。セクシーでもある。東北新幹線はすでに開業し、花巻～羽田はなくなっていたが、仙台～羽田便はまだあった。



B727-200

インターネットのない時代、時刻表を見て路線と時刻と機種を選び、旅行会社でチケットを取った。当日は仙台まで在来線、仙台空港まではシャトルバス、飛行機の座席指定は空港カウンターでしかできなく、窓側席を取りたかったので、早めに空港に行った。

搭乗手続きも、マックスパワーで滑走するときの胸にかかるGの感覚も、空からの眺めもすべてワクワクだったが、仙台から羽田は45分で終わった。

ディズニーランドは小雨だった。そのためか空いていた。当時は「パスポート」チケットはなく、「BIG10」というチケットだった。これは、アトラクションにより、A券からE券までチケットがあり、それが10枚セットになっているもので、ほとんど使い切り、買い物もしながら、閉園まで満喫した。

昔のプーさんは今のプーさんとは姿が違っているといわれる。そのときそれがどうだったかは覚えていない。

TDLに隣接するJR京葉線舞浜駅は88年に開業するので、それ以前は地下鉄東西線浦安駅が最寄り駅だった。最寄りといっても、駅を降りて、シャトルバス乗り場まで5分歩き、そこからバスで5分くらいだった

プーさん



TDL

ので、かなり距離があった。バス乗り場が今どうなっているだろうと気になる。グーグルマップで探してみると今はマンションが並ぶ住宅地になっているようだ。

## 気になる場所

この場所はどこなところだろうと気になることがしばしばある。

これも同じ高校2年生のとき、『an・an』を見て、「広尾(東京都渋谷区)ってどんな街だろうと思った。「広尾の古着屋さん、雑貨屋さん」みたいな特集記事だった。地下鉄の広尾駅から地上に出ると、「明治屋」(高級スーパー)があって、東京でもさほど外国人が多くなかった当時でも、「欧米人」のような人が多く歩いていて、他の東京の街とは違う気がした。

『an・an』の記事をメモした紙と地図を見ながら目的の店を探した。狭い通りに昔から受け継いでいるような「地元の商店街」を歩くのだが、小洒落た店が多い。見つけたのは、私からはちょっとお姉さん向けみたいな品ぞろえの店だったがが好みにあった。

私が高学生のころ、お好み焼き「千房」はまだ関西にしかなかった。

夢中になって聴いていたラジオ番組「鶴瓶・新野のぬかるみの世界」を後押ししていたのが「千房」で、番組のファンにとって「千房」は特別な場所だった。

千房に行ってみたかった。

大阪に行ったとき、大阪市内に何店もある中で、たまたま北新地(北区)のお店にいった。とてもムーディーだった。高級肉を目の前で鉄板焼きにして出すようなカウンター席もあり、メニューに書かれている値段は高かった。お好み焼きをお店で食べたことがなかったので、こういうものと訝しく思いながら、最低の値段のお好み焼きを頼んだ。

後になって千房にはいくつかのお店のランクがあると知った。そのお店は「ぶれじでんと千房」というハイクラスのお店で、「北新地」という立地も東京なら「銀座」のような高級飲

食街に相当する場所だった。

横浜ランドマークタワーも恵比寿ガーデンプレイスもワイルドブルーヨコハマも、新しい話題の場所にはすぐ行った。

ラフォーレ原宿によく行った話をすると、娘は「お父さんのカラーじゃない」という。

## 事件現場とビール工場

娘が小学生のころ、「歴史の場所に行ってみよう」という企画を親子でやったことがある。

「生麦ってどんなところだろう?」とつぶやいたら、娘も「気になってた」「行ってみたい」という。歴史の本で生麦事件が取り上げられるとき、街道沿いに大木が1本ある写真が事件の現場として掲載されるが、その場所がどんなところか気になっていた。

横浜市鶴見区生麦。1862年、薩摩藩主の行列に遭遇した騎馬のイギリス人を供回りの藩士たちが殺傷した事件で、これが薩英戦争に発展する。その現場である。



生麦事件の現場

江戸時代ではないので、当然ながら写真にあるような畑は周囲にない。戸建て住宅が立ち並び、旧道と並行して首都高速が走っている。住宅と住宅の狭間に「生麦事件碑」があるだけだった。しかし、小さな石碑だが、ここから薩英戦争が始まることを想うと感慨深いし、もっと想像を広げると、薩英戦争も下関戦争も、いまなら鹿児島県とイギリスの戦争だし、山口県とイギリス・フランス・オランダ・アメリカの戦争なので、そのスケールは想像を絶する。いろんなことを親子で考えた。

「歴史の場所に行ってみよう」のこれは2回目。1回目は「桜田門外の変」だった。

娘は大学生になり、今はひとりで似たようなことをやっている。

ぼちぼち歩いていたら、キリンビール横浜工場があった。工場見学ができるということで、ついで見学し、出口のPRエリアでふるまわれたビールとジュースをいただいた。私はお酒に弱いので、ほんの一杯だったが、飲み会帰りみたいになった。

そして、ここは「生麦」にちなんで建てた工場ではないらしい。

(裏面につづく)

## 一億総白痴

グーグルマップでも町の様子は見られる。3年生は、新生活の準備もはじまるが、賃貸物件サイトでは部屋の様子を3Dカメラで見られたりする。「外国のお客様は来日しないまま購入を決めることがありますよ」三菱地所の方はおっしゃっていた。

アマゾンからメルカリまで、そして、電化製品、自動車…衣服、ネット購入が日常になった。

ネットスーパーは、重いものも持ち帰らずに済むのでたまに利用する。注文したお肉が品切れなのだと、それより上質なものと同じ値段で配達されることもあり、それはうれしい。

それはそれとして…私は買い物にリアルが欲しい。時間と手間と経費と神経を使っても、お店に行って商品に触れたい。実物を見ながら迷うのは楽しいし、百貨店なりスーパーなり、音や匂い、雑踏のざわめき、そんな買い物の空間が好きだ。

家にいながら何でもできる。世界中の情報も商品もインターネットを通して自由に手に入る。そして、すべてがわかる気になっている。

それなら、インターネットは私たちの「世界」を「広くした」のか「狭くした」のか？

「テレビの登場で日本人は総白痴化する」と小学校の担任からいわれていた。「白痴化」とは「バカになる」ということ。「テレビというメディアは非常に低俗で、テレビばかり見ていると人間の想像力や思考力を低下させてしまう」と説明された。これが、昭和を代表する社会批評家 大宅壮一（おおやそういち）が1957年に述べたことばだったことは大人になってから知った。

余談だが、この担任は、小学生の私たちにさまざまなことを教えてくれた。「祇園の芸妓の方が先斗町より格が高い」と教えてくれたのも、この先生である。

## SHEIN

SHEIN に行ってみた。

「SHEIN」も「coca」もアルファベットの見分けがつかない同輩が多いが、私はわかっていることをとりあえず話しておく。

これも、お店の大きさ、品ぞろえ、商品の質感、話題性が気になった。

開店時は150人以上が行列を作ったと報道された。「オンラインストア上でしか商品を見ることができなかったため、実物を見られるのは嬉しい」という客のコメントもそこにあった。

20人ほどが並んでいて、私は5分で入ることができた。

思ったより品数が少なくながっかりした。サイ

トには、無限に商品があるのに残念だった。ここにいる人、みな思っていないだろうか？ これも行ってみたいわかなことである。

(佐藤貴之)



SHEIN (撮影 佐藤)

## 大宅壮一のことば

大宅壮一 著 大宅映子 編  
KADOKAWA

時代の風潮を見事に裁断する独特の社会批評を展開し広くマスコミで活躍したのが大宅壮一である。それは、時代が移ってもいまだ錆びることがない。また、「ロコミ」「恐妻家」などの新語をつくってきたことでも知られている。

来るべき未来を予見し、時代が移っても人の営みの本質は変わらないことを鋭く衝いてきた大宅壮一だが、この本は「一億総白痴化時代」などの強烈なことばを、その前後の文脈をきちんと紹介しながら、その魅力を伝えている。

さらに、日本人は自分の意見を持たず、大勢に流されると批判してきた娘の大宅映子（評論家）がこれを解説、寸評する。



## 今年度購入図書 おすすめの本

### 地球の歩き方

#### ジョジョの奇妙な冒険

地球の歩き方編集室  
地球の歩き方

人気漫画『ジョジョの奇妙な冒険』と『地球の歩き方』がスペシャルコラボ。物語の舞台を網羅した最高に奇妙な冒険ガイドブック誕生！

ジョジョの奇妙な冒険の35周年を記念して、杜王町から世界各地に至るまで、第1部～第8部の舞台を地球の歩き方が徹底紹介！ 荒木飛呂彦先生の「旅」にまつわるロングインタビューも掲載。



### 地球の歩き方

#### 今こそ学びたい日本のこと

地球の歩き方編集室  
地球の歩き方

あなたは、日本のことをどのくらい知っていますか？

この国の文化や歴史、習慣について世界の人々に説明することができますか？



感想や投稿も受け付けます。冬休みを利用し、あなたも文章を書いてみませんか？  
本のことを中心に、気まま、勝手に書いてきましたが、年内はこれが最終号です。  
よいお年をお迎えください！

